

手柄山温室植物園だより

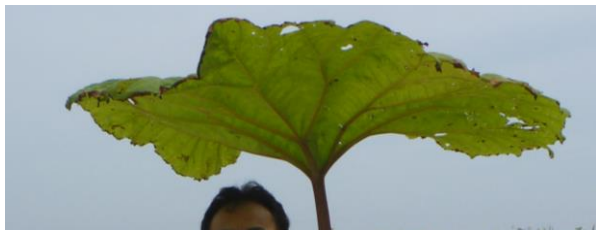
シリーズ：姫路市に見られる身近な植物

22. フキ（キク科フキ属）

Petasites japonicus (Sieb. et Zucc.) Maxim.

2015年3月

山地や丘陵地の路傍、ため池や田んぼの堤体に生育する雌雄異株の多年草です。地下茎を長く伸ばし増えます。2～3月にかけて地際に苞に包まれた蕾の塊で「フキノトウ」と呼ばれる卵形のとうは食用になります。花は3～5月にとうが伸び、花茎の先に頭花を円錐花序につけます。雄株につく雄頭花は密散房状で、筒状の両性花をつけますがすべて不稔です。雌株につく雌頭花は密散房状に多数の雌花をつけ（中央に数個の両性花もつける）、糸状の花冠を持ち、花柱も糸状です。雌株の花茎は花後に70cmほどにも伸びます。葉は雌雄株とも花後にそう生し、長い葉柄に腎円形で幅15～30cmで、基部は深く心形になります。分布は本州、四国、九州、沖縄、朝鮮、中国で、兵庫県ではほぼ全域に見られ、姫路市においても点在します。しかし、食用に農道や堤体に植栽することも多く、野生かどうかわからないところも少なくありません。亜種に岩手県以北で北海道、千島に生育するアキタブキ (*Petasites japonicus* (Sieb. et Zucc.) Maxim. subsp. *giganteus* (Fr. Schm.) Kitam.) があります。全体に大型で、葉の直径が1.5m、葉柄2mに達するものもあります。



アキタブキ



雄株の頭花



花茎の伸びた雌株